

## 5 令和8年度「みやぎ環境税」活用事業一覧

(単位：千円)

視点	No.	区分	事業名	事業内容	当初予算額		担当課室名
						うち税充当額	
1 暮らしや経済活動の脱炭素化							
	9	新規	低温に強く燃油を削減可能なイチゴ交配母本の育成事業 (ビジョン事業名：気候変動に適応した持続可能な農業技術の確立)	イチゴ栽培において冬期のハウス内加温が二酸化炭素排出源となっている。冬期のハウス内加温温度が、既存のイチゴ品種より低い温度でも収量が劣らない低温に極めて強い交配母本を育成するもの。	4,340	4,325	農業振興課 (農業・園芸総合研究所)
	10		みやぎの有機農業等推進事業	環境と成長が循環する持続可能性のある農業の確立を目指し、有機JAS認証等の新規取組・取組拡大支援、環境に配慮した農産物の生産に関する普及啓発により、環境に配慮した農業生産の取組支援と理解促進を図るもの。	44,789	1,720	みやぎ米推進課
	11	新規	温室効果ガス削減効果の高い水田輪作体系実装事業	機械・施設の導入支援や県による伴走型支援を通じて、「バイオ炭の農地施用」の現場実装を加速化させ、また、「水稲栽培における中干し期間の延長」と組み合わせた温室効果ガス削減効果の高い水田輪作体系の実装を目指すもの。	3,948	3,640	みやぎ米推進課
3 気候変動の影響への適応							
	26		みやぎの食材バリューチェーン展開プロジェクト(気候変動に対応した商品づくり事業)	気候変動や海水温上昇等に伴い生産漁獲が拡大している県産農産物や水産物等を活用した新商品開発に取組む事業者に対し、新商品開発に係る経費を支援するもの。	37,509	6,262	食産業振興課
	27	新規	環境に配慮した水稲乾田直播栽培実証事業 (ビジョン事業名：気候変動に適応した持続可能な農業技術の確立)	農業の持続的な発展及び環境と調和のとれた農業生産を推進するため、環境に配慮した水稲乾田直播栽培技術を実証し、併せて、水田から発生するメタンガス排出量を測定し、抑制策について検討するもの。	1,150	1,150	農業振興課 (古川農業試験場)
	28	新規	地球温暖化に対応した病害虫防除技術の開発 (ビジョン事業名：気候変動に適応した持続可能な農業技術の確立)	地球温暖化等により発生リスクの拡大が懸念される病害虫に対して、化学合成農薬を節減するなど環境にも配慮した新たな防除技術体系の構築を図るもの。	5,168	5,168	農業振興課 (古川農業試験場)
	29	新規	高温に強いみやぎ米レベルアップ事業	平均気温の上昇に伴い高温条件での水稲生産が常態化する中、デジタル技術を活用した高温対策と高温登熟耐性に優れた新品種の導入を進め、高温条件下でも安定した宮城米生産体制を整備し、品質向上を図る。	15,000	3,000	みやぎ米推進課
	30	新規	環境と高温に適応した施設園芸展開事業 (ビジョン事業名：施設園芸環境変動対策事業)	地球温暖化や環境保全に対応するため、夏季高温対策とCO2削減等の環境負荷低減に対する取組を組み入れた新たな施設園芸を展開し、県内への普及拡大を目指す。	8,527	8,513	園芸推進課
	31	新規	温暖化に対応する飼料作物栽培緊急実証事業	夏季高温による寒地型牧草の夏枯れ・収量減少に対応するため、関東以西で行われている飼料作物の二毛作栽培技術を県内で実証・展示し、技術を普及することで自給飼料収量の確保を図るもの。	2,000	2,000	畜産課 (畜産試験場)
合計					122,431	35,778	

○以下の視点は、農政部該当事業なし  
 視点2「森林の多面的機能の発揮に向けた管理や再造林の推進」  
 視点4「生物多様性、自然環境の保全と活用」  
 視点5「地域の脱炭素化を担う人材の育成」